

ビーだま

ビーだまのように、キラリと光る一冊を

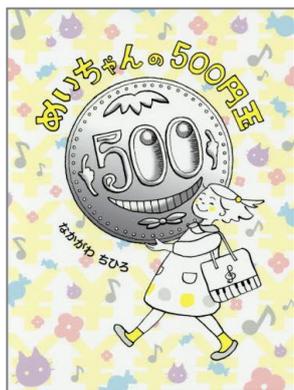
2015 年 7 月～12 月に図書館に入った本の中から、とくにおすすめの本を紹介します

<編集・発行> 富山市立図書館 富山市西町5番1号
電話 076-461-3200
平成 28 年 4 月 23 日発行 (年 2 回発行)



めいちゃんの500円玉

なかがわちひろ / 作・絵 アリス館



めいちゃんは道で500円玉をひろいました。おとし主をさがしますが、みつかりません。すると、その500円玉が「オレさまで、すきなものを買いなよ」と話しかけてきました。

スーパーに行っためいちゃんは、かごいっぱいおかしをえらびました。それから、シールやカラーペン、いいにおいのけしごむもほしくなり……。

にゃんともクラブ

竹下文子／作 かとうまふみ／絵 小峰書店



ぼくは、こうえんのねこに「友だちでもないのに、さわるなよ。」とおこられました。友だちになるには、〈にゃんともクラブ〉に入らなくてはいけないというのです。クラブには、きそくがたくさんあって、なかなか、ねこをさわることができません。ねこは、いつもいばっていて、気まぐれなのです。



よるのとしょかんだいぼうけん

村中李衣／作 北村裕花／絵 BL出版

ぬいぐるみのくまきちは、としょかんでのおとまり会にやってきました。人がいなくなった真夜中、あばれグマのジャンボンがあらわれます。としょかんの絵本からとびだしてきたのです。くまきちは、同じく本からでてきた騎士といっしょにジャンボンにたちむかいます。



ウォーリーと16人のギャング

リチャード・ケネディ／ぶん マーク・シーモント／え 小宮由／やく 大日本図書



おまわりさんと町長さんがるすの午後、町にやってきたのは16人のギャングたち。町の人々は、家のなかにかくれてしまいました。ところが、小さな男の子ウォーリーが、たったひとりでギャングたちにしょうぶをいどみます。ちえをつかって、ギャングたちをやっつける、つうかいな物語。

くじゃくのジャックのだいたっそう

井上よう子／作 くすはら順子／絵 文研出版



ジャックは、うつくしいはねがじまんです。「きどりや」とからかうさるたちをみかえそうと、ある日、ジャックはかっこよくはねをひろげました。とぼうとしたそのとき、つよい風がふいて、ジャックはどうぶつえんの外へとばされました。そして、町中からちゅうもくをあつめます。



みんなのおばけ小学校

市川宣子／作 石井聖岳／絵 佼成出版社

桜さくら小学校は、おばけ小学校とよばれています。入学式の写真に、おばけがうつっていたからです。子どもたちはこわがって、みんな転校してしまい、のこったのはたったの5人。校長のかほる先生は、こまってしまいます。そこへ5人のおばけがあらわれ、先生のとつだいをするといいだしました。



さかさ町

F. エマーソン・アンドリュース／作 ルイス・スロボドキン／絵 小宮由／訳 岩波書店



リッキーとアンはたびのとちゅう、知らない町でとまることになりました。そこでは、車が後ろ向きに走っています。よく見ると、かんばんも家もさかさま。おとなのかわりに子どもがはたらいて、かいものをするとお金をくれるというのです。その町は、なんでもさかさまの〈さかさ町〉でした。

つくしちゃんとすぎなさん

まはら三桃／作 陣崎草子／絵 講談社



転校してきたばかりのつくしちゃんは、友だちから、魔女の家を教えてください。いいにおいにつられて、その家をのぞいてみると、庭にいたおばあさんに見つかってしまいました。つくしちゃんは、いちもくさんに走って逃げますが、なわとびのなわを落としてきたことに気づきます。



ペンギンは、ぼくのネコ

ホリー・ウェブ／作 田中亜希子／訳 大野八生／絵 徳間書店

アルフィーは、いつもネコのペンギンといっしょに、となりの家の庭にこっそり入って遊んでいます。ある日、その家にグレースという女の子が引っこしてきました。くいしんぼうのペンギンはえさをくれたグレースになつき、アルフィーはペンギンをとられてしまうのではとしんぱいします



あひる（えほん）

石川えりこ／作 くもん出版



ある日、わたしの家に1わのあひるが届けられましたが、元気がありません。わたしと弟は、あひるを元気づけようと、川でおよがせます。つぎの日、いそいで学校から帰り、とり小屋をのぞくとあひるがいません。台所にとびこんだわたしたちに、おかあさんがあひるは死んだとおしえてくれました。

【 執筆:山田(婦中図書館) 】